

はしがき

「三島の統計」2024年版（第77回）をここに刊行します。

本書は、三島市の人口、経済、産業、教育、文化、市民生活などの各分野にわたって基本的な統計資料を収録しています。

この統計資料は、現在の三島市の状況や推移・発展を明らかにしようとするもので、市民の皆様がより快適な生活を送るための道標として、また、経済活動に、学術研究に、本書を広く活用していただくことができましたら幸いです。

編集にあたりましては、できるだけ最新の資料を取り入れる等、内容の充実に努めておりますが、今後とも各方面からの御意見や御要望などをいただき、更に改善していきたいと考えております。

本書の刊行にあたりまして、時間をさいて貴重な資料を提供していただきました方々をはじめ、統計調査にご協力をいただきました皆様に、心より厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともより一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

2024年3月

三島市長 **豊岡 武士**

本書の利用上の注意

1. この統計書は、三島市に関する市勢全般にわたる基本的な統計資料を収録したものです。
2. 年次は暦年（1月～12月）、年度は会計年度（4月～翌年3月）を示し、「年月日」とあるものは、その期日現在です。
3. 数字の単位未満は、四捨五入を原則としましたので、合計数と内容の計が一致しない場合もあります。
4. 資料は、官公庁、民間企業、三島市役所府内各部署等から直接収集したもので、出所は各表の右下に掲げました。また、刊行物によるものは、その書名及び統計調査名を付記しました。
5. 統計表中の符号の用法は、下記のとおりです。

「-」	皆無または該当のないもの
「…」	事実不詳または不明のもの
「0」	単位に満たないもの
「△」	マイナスのもの
「X」	個々の秘密保護上公表を控えたもの
6. 国・県等の指定統計に係るもの発表数字と単位表示及び端数計算により若干相違することもあります。
7. 統計資料についての照会及びご意見、ご要望等は政策企画課行政経営係または各表ごとに付してある資料提供機関へお願いします。

三島市企画戦略部政策企画課行政経営係
電話：055-983-2616（直通）
E-mail：seisaku@city.mishima.shizuoka.jp

目次	
NO	頁
三島のあゆみ 主要統計長期指標	1 4
A 土地・気象	
1 地勢	9
2 位置	9
3 標高	9
4 面積	9
5 土地利用の現況	10
6 月平均気温	11
7 日最高気温の月平均値	11
8 日最低気温の月平均値	12
9 月平均相対湿度	12
10 月平均風速	13
11 月降水量	13
12 気象の極値・順位	14
13 気象概況及び震度 1 以上を観測した地震	14
B 世帯・人口	
1 世帯と人口	15
2 月別の世帯と人口推移	16
3 国籍別の外国人住民	19
4 人口動態	20
5 年齢の階級別人口	21
6 自治会・町内別の人口	22
7 地区世帯と人口推移 <国勢調査>	25
8 世帯と人口	26
9 男女別人口	26
10 年齢別人口の推移	27
11 人口集中地区人口	27
12 流出流入の人口	28
13 昼間の人口	28
14 産業大分類別15歳以上就業者数	29
15 将来推計人口	30
16 合計特殊出生率	31
C 事業所	
1 事業所数と従業者数	32
2 開設時期別民営事業所数と従業者数	32
3 産業大分類別事業所数と従業者数	33
4 産業大分類、従業者規模別事業所数 及び従業者数	34
5 経営組織別の事業所数と従業者数	34
6 産業大分類別事業所数及び従業上の地位別従業者数	35
7 経営組織別民営事業所数と従業者数の推移	35
D 工業	
8 産業中分類別事業所数及び従業者数	36
1 従業者規模別事業所数（全事業所）	39
2 従業者規模別従業者数（全事業所）	39
3 事業所数、従業者数、原材料使用額、現金給与総額及び製造品出荷額等の年次推移（全事業所）	40
4 従業者規模別製造品出荷額等総額（4人以上）	40
5 産業中分類別の事業所数・従業者数及び製造品出荷額等（4人以上）	41
6 産業中分類別の現金給与総額・製造品出荷額等及び粗付加価値額（4人以上）	43
7 事業所敷地面積及び建築面積（30人以上）	44
8 事業所水源別用水量（30人以上）	44
E 商業	
1 産業中分類別事業所数	45
2 産業中分類別従業者数	46
3 産業中分類別年間商品販売額	46
4 産業中分類別売場面積	47
5 小売業の業態別の事業所数、従業者数等	47
6 産業小分類別商店数と年間販売額等	48
7 大規模小売店舗面積規模別事業所数、従業者数等	50
8 コンビニエンスストアの商店数・従業者数等	50
F 農業	
1 農家数と農家人口、経営耕地規模等	51
2 耕地面積	51
3 農地転用状況	52
4 耕地面積と水稻作付面積、収穫量	52
G 観光	
1 楽寿園入園者状況	53
2 楽寿園の無料入園者数内訳	53
3 観光施設入込人数	54
4 宿泊施設別の施設数と収容客数	54
5 宿泊施設利用状況	54
6 総合観光案内所年度別利用状況	55
7 バス利用富士登山客数	55
8 竹倉温泉・三島温泉の湧出・揚湯状況	55

NO	頁	NO	頁
H 金融		L 教育・文化	
1 中小企業融資制度(信用保証制度) の利用状況	56	1 幼稚園教員数と園児数	77
2 三島市制度融資の利用状況	56	2 小中学校児童生徒数・教員数と学校数	77
I ガス・水道		J 運輸・通信	
1 都市ガス用途別需要戸数	57	1 コミュニティバス利用状況	60
2 都市ガス用途別使用量	58	2 JR三島駅利用状況	60
3 上水道事業状況	59	3 伊豆箱根鉄道利用状況	60
K 土木・土地利用・住宅		M 福祉・保健・労働	
1 道路別の実延長と舗装率	68	1 保育所等入所児童数	90
2 市道の実延長と車道幅員	68	2 民生委員・児童委員定数	90
3 市道整備状況	68	3 生活保護の開始・廃止世帯数・人員	90
4 橋梁及びトンネルの箇所数と延長	69	4 生活保護費支出額状況	90
5 橋梁構造別の個数・延長及び面積	69	5 身体障害者手帳交付件数	91
6 河川別の流路延長と市内延長	69	6 療育手帳交付件数	91
7 課税対象地目別面積	70	7 精神保健福祉手帳交付件数	91
8 開発行為件数と面積	70		
9 用途地域別の面積と容積率/建ぺい率	71		
10 着工新設住宅 利用関係別戸数及び 床面積の合計	71		
11 課税対象家屋棟数と床面積	72		
12 建築確認件数と道路河川占用件数	72		
<住宅・土地統計調査>			
13 住宅数	73		
14 住宅種類・所有関係別の住宅状況	74		
15 住宅の所有の関係、建て方、階数別 専用住宅数	74		
16 住宅の種類・構造、建築の時期別 住宅数	75		
17 住宅の建て方・構造別の住宅数	75		

NO	頁
8 国民年金加入者と給付者状況	91
9 国民年金の受給者数と受給金額	92
10 国民健康保険加入者と医療費の状況	92
11 国民健康保険世帯及び被保険者の推移	93
12 後期高齢者医療加入者と医療費状況	93
13 介護保険の状況	93
14 介護保険サービス利用状況	94
15 予防接種状況	94
16 結核予防健康診断受診者状況	95
17 死因別死者数	95
18 医療機関数・医師数及び病床数	95
19 一般職業紹介状況	96
20 産業別新規求人状況（一般＋パート）	96
21 産業別の労働組合数と労働組合員数	97
22 老人福祉センター利用状況	97
23 社会福祉会館利用状況	97
 N 市民生活	
1 酒類消費量	98
2 市民相談件数	98
3 公害苦情受理件数	99
4 大気測定値	99
5 主要河川生物化学的酸素要求量 (BOD年平均)	100
6 ごみ収排出状況	100
7 一般廃棄物収集搬入状況	100
8 清掃センター内資源ごみ回収量	101
9 ごみし尿処理状況	101
10 公共下水道整備及び普及状況	101
11 みしま聖苑施設利用状況	102
12 楽寿園及び浄水場の地下水の水位	102
13 楽寿園小浜池渴水と湧水状況	103
14 都市公園数と面積	103
15 水害浸水世帯数状況	103
 O 公安・消防	
1 刑法犯罪種別認知（発生）状況	104
2 刑法犯交番別認知（発生）状況	104
3 交通違反の違反別検挙数	104
4 交通事故状況[概数]	105
5 時間別交通事故発生状況	105
6 路線別交通事故発生状況	105
7 月別救助活動状況	106
8 月別救急活動状況	106
9 月別火災発生状況	107
10 原因別火災件数	107
11 災害等受信件数	108
12 三島簡易裁判所 民事事件分類別の受 理件数	108

NO	頁
13 三島簡易裁判所 刑事事件分類別の受 理人員	108
 P 行財政・市議会	
1 市職員数	109
2 選挙人名簿登録者数	109
3 主要選挙別の投票結果状況	109
4 一般会計歳入歳出決算額推移	110
5 平成30年度の一般会計歳入決算額財源 別内訳	110
6 一般会計歳入決算額性質別内訳	111
7 一般会計歳出決算額性質別内訳	111
8 各特別会計歳入歳出決算額推移	112
9 税務平均調定額	113
10 税目別納税義務者状況	113
11 市税收入済額の推移	114
12 課税関係証明書発行状況	114
13 段階別納税義務者数・総所得金額・分 離譲渡所得額等	115
14 給与所得者の納税義務者数・総所得金 額・所得控除額等	115
15 営業等所得者の納税義務者数・総所得 金額・所得控除額等	116
16 農業所得者の納税義務者数・総所得金 額・所得控除額等	116
17 その他の所得者の納税義務者数・総 所得金額・所得控除額等	117
18 土地等譲渡等の分離課税者の納税義務 者数・総所得金額・所得控除額等	117
19 市議会開会度数と議決件数等	118
 Q 付録	
1 三島市民憲章	120
2 市の紋章、市の花及び市の木、市の鳥	121
3 都市宣言	123
4 名誉市民	126
5 歴代市長	127
6 歴代市議會議長	127
7 姉妹都市	128
8 市の都市公園	130
9 文化財及び史跡の状況	131

三島のあゆみ

三島市は静岡県の東部、富士箱根伊豆国立公園の玄関口に位置しており、昭和16年4月29日に市制を施行、人口は約107,700人の都市である。

三島はその昔、伊豆一ノ宮としての三嶋大社や伊豆の国府が置かれ、江戸時代には東海道五十三次の峠越えの宿場の一つとして大変賑わった歴史の古いまちである。

町制を施行した明治22年に東海道線が新橋ー神戸間で開通したが、その路線は国府津駅から御殿場、下土狩を経由して沼津に通ずるもので、三島を迂回したことにより、まちの発展に支障をきたした時期もあった。しかし、丹那トンネルが昭和9年に開通し、同年12月1日、東海道線三島駅が開設され当市発展の基礎となった。

昭和44年4月25日には全国で初めての請願駅として、新幹線三島駅が開設され、こだま号で東京から1時間の通勤圏内に入ることとなり、近年では、ひかり号の停車と本数の増加により、品川駅までの時間が37分に短縮されるとともに、東名・新東名高速道路に接続する東駿河湾環状道路の整備や、三島スカイウォークをはじめとした大型観光施設が建設されるなど、伊豆・北駿の玄関口、交通結節点・観光交流拠点として、また、県東部の中核的都市として発展してきている。

また、市内には国内で唯一の遺伝学に特化した国立研究機関である国立遺伝学研究所があり、そのほかに日本大学国際関係学部、順天堂大学保健看護学部、放送大学静岡学習センター、静岡県総合健康センターなど施設も有しております、文教都市としての性格も持ち合わせた都市である。

三島市では、昭和32年にアメリカ合衆国のパサディナ市と県下で最初となる国際姉妹都市縁組をしたのをはじめ、平成3年には市制施行50周年を記念して、ニュージーランドのニュープリマス市と姉妹都市縁組を行い、平成9年5月には中国麗水市と友好都市提携協定を締結し国際交流を推進している。

また、昭和34年に「平和都市（核非武装）」、昭和37年に「環境衛生都市」「交通安全都市」、昭和57年に「青少年健全育成都市」、平成元年に「健康都市」、平成10年に「地球温暖化防止都市」の各宣言を行なうとともに、平成21年3月、全国的に珍しく県内初の「食育推進都市宣言」を追加し、まちづくりの指針としている。

併せて、昭和39年の石油コンビナート反対闘争を踏まえ、市の将来都市像を定めるために、昭和42年に「三島市総合開発計画」を策定し、以後、市民参画の中で、昭和59年に「新三島市総合計画基本構想」、平成13年に「第3次三島市総合計画基本構想」、平成23年に「第4次三島市総合計画基本構想」を策定してきた。

令和3年度からは将来都市像を『せせらぎと緑と活力あふれる幸せ実感都市・三島』とする第5次三島市総合計画がスタートし新たな時代に対応していく。

また、令和6年度の予算編成方針では、「ガーデンシティみしま」「スマートウエルネスみしま」「コミュニティづくり」の3つの柱や、SDGsとの関連も意識する中で、力強く推し進めつつ、「スマート市役所」として、DXによる市民の利便性向上及び業務の効率化に努め、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まりつつあることに加え、円安の進行により、急激にインバウンド需要が高まるなど、社会経済情勢が劇的に変化する中、変化に対し柔軟かつ的確に対応していくことが重要であり、市民等のニーズを的確に把握し、応えていくためには、より必要性の高い事業、より効果的な事業への転換が必須であり、それらを継続的に支えていくための持続的発展に繋がる取組が重要であることを、常に念頭に置くとしている。

三島のあゆみ(年表)

西暦	元号	月	事柄	西暦	元号	月	事柄
1941	昭和16	4	三島町・錦田村が合併し、三島市が誕生	1968	昭和43	1	市立老人ホーム佐野楽寿寮完成
		7	初代市長に、花島周一氏就任	1969	昭和44	4	南中・北中に屋内体育館完成
1945	昭和20	1	市常設消防部設置			8	新幹線三島駅開業
		7	第2代市長に渡辺知雄氏就任	1970	昭和45	10	市民憲章、市の木、市の花制定
1946	昭和21	12	市選舉管理委員会・農地委員会設置	1971	昭和46	1	旭ヶ丘団地完成
1947	昭和22	4	第3代市長に原国太郎氏就任			3	こも池公園整備
		10	三島簡易裁判所設置			10	郷土館完成
		11	市消防団結成	1972	昭和47	4	子どもの森オープン
1948	昭和23	3	市警察署開設			6	長伏プールオープン
		8	三島市体育協会発足	1973	昭和48	7	三島田方行政情報センター発足
		12	水道課を設置し、上水道事業を開始			7	山中城跡、第1次発掘調査開始
1949	昭和24	2	第4代市長に朝日原作氏就任	1974	昭和49	10	市民文化会議発足
		12	国立遺伝学研究所開設			4	元山中畠地総合整備事業着手
1950	昭和25	7	「時の鐘」再建される	1975	昭和50	11	芙蓉台団地完成
		9	市弘報(今の広報)発刊	1977	昭和52	2	新消防庁舎完成
1951	昭和26	1	第1回成人式開催			2	第7代市長に奥田吉郎氏就任
		3	市制10周年記念「三島行進曲」完成			3	初音台団地完成
		10	市社会福祉協議会発足			4	上岩崎公園開園
1952	昭和27	7	市立公園樂寿園開園			12	市民体育館完成
		11	市教育委員会設置される	1979	昭和54	3	加茂団地完成
1953	昭和28	2	第5代市長に松田吉治氏就任				「文芸三島」第1号発刊
		3	中郷温水地完成	1980	昭和55	3	長伏公園に野球場完成
		4	声の広報開始			4	北上中学校、中郷西中学校開校
1954	昭和29	3	中郷村を編入			5	児童館オープン
			樂寿園小浜池、国の天然記念物・名勝に指定	1981	昭和56	12	障害者福祉都市に指定される
1955	昭和30	3	富士箱根伊豆国立公園に指定される			4	山中城跡史跡公園オープン
1956	昭和31	5	三島市産業物産館(公会堂)完成	1982	昭和57	8	祇園大橋完成
1957	昭和32	4	アメリカ合衆国パサディナ市と姉妹都市提携			3	愛染めの滝完成
			見晴学園開所	1984	昭和59	9	青少年健全育成都市宣言
1958	昭和33	9	狩野川台風で伊豆地方に大被害			3	北地区コミュニティー防災センター完成
1959	昭和34	2	し尿処理場完成				老人福祉センターオープン
1960	昭和35	10	現市庁舎完成(市制20周年記念式典挙行)			4	三島市観光協会発足
1961	昭和36	2	第6代市長に長谷川泰三氏就任	1985	昭和60	6	新三島市総合計画基本構想策定
		6	台風6号・梅雨前線により、中郷地区被害を受ける			12	三島駅開設50周年記念
1962	昭和37	8	初の市政座談会を開催			2	西地区コミュニティー防災センターオープン
		9	新丹那トンネル開通			3	三島郵便局新局舎完成
			三島・沼津間の路面電車(ちんちん電車)廃止			7	新幹線ひかり号、三島に停車
1963	昭和38	9	千枚原住宅団地完成	1986	昭和61	7	少年自然の家及び野外キャンプ場一部オープン
1964	昭和39	1	石油コンビナート進出計画提示される			4	シルバー人材センター発足
		6	市議会石油コンビナート進出阻止を決議	1987	昭和62	人口10万人となる	人口10万人となる
			都市下水道事業に着手			4	市立箱根の里オープン
1965	昭和40	4	住居表示実施			10	保健センターオープン
		7	狩野川放水路完成			11	三島市と田方郡が窓口業務オンライン化実施
		11	佐野隆一氏初の名誉市民となる	1988	昭和63	11	国道1号三ツ谷バイパス開通
1966	昭和41	11	佐野美術館完成			12	市役所中央町別館オープン
1967	昭和42	3	三島駅前広場完成	1989	平成元	7	農免農道が完成
			富士ビレッジ団地完成			8	シルバー人材センター社団法人に認可
		10	市総合開発計画基本構想を制定			8	新ゴミ焼却場完成
		11	三島工業団地完成			12	市街化区域全域が監視区域に指定される

三島のあゆみ(年表)

西暦	元号	月	事柄	西暦	元号	月	事柄
1990	平成2	3	錦田中学校に格技場オープン	2010	平成22	3	北小学校全面改築完了
		9	大場川氾濫			9	錦田保育園移転開園
1991	平成3	4	市制施行50周年記念式典 市民文化会館オープン ニュープリマス市と姉妹都市提携			12	北幼稚園移転開園 第10代市長に豊岡武士氏就任
1992	平成4	3	三島沢地工業団地完成	2011	平成23	4	市マスクットキャラクター決定
		4	五十路大橋開通(谷田幸原線) 山田中学校開校			7	市制施行70周年記念式典
1993	平成5	2	第8代市長に石井茂氏就任	2012	平成24	3	東駿河湾環状道路三島加茂IC供用開始
		4	県東部地方拠点都市地域指定	2014	平成26	1	東駿河湾環状道路三島塙原IC～函南塙本IC供用開始
1994	平成6	4	箱根旧街道石畳整備に着手 町内防犯灯、螢光灯から水銀灯へ	2015	平成27	12	箱根西麓・三島大吊橋(三島スカイウォーク)供用開始
		8	市営中央駐車場オープン	2016	平成28	3	国道1号笛原山中バイパス開通
1995	平成7	1	パサディナ市ローズパレードに参加			4	富士山南東消防本部運用開始
1996	平成8	3	大場川護岸改修完成			10	市制施行75周年記念式典
		4	加茂川町保育園開園			11	三島馬鈴薯が地理的表示保護制度に登録
		8	うるおい橋、やすらぎ橋完成	2017	平成29	9	源兵衛川が世界かんがい遺産に登録
1997	平成9	2	すこやか橋完成			10	中郷温水池公園オープン
		3	市民の日(4月29日)制定			11	水道料金を改定
		4	市役所大社町別館、三島市総合防災センターオープン			12	地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰受賞
		5	市民生涯学習センターオープン			2	「ふるさとづくり大賞」総務大臣賞受賞
		6	中国麗水市と友好都市提携調印			3	源兵衛川が「世界水遺産」に登録
		7	エフエムみしま・かんなみ開局			4	伊豆半島ジオパークが「世界ジオパーク」認定
		8	上岩崎公園プール完成			5	箱根八里が「日本遺産」県内初認定
		9	みしま聖苑開業				北中学校南校舎改築
1998	平成10	5	佐野小学校新校舎落成式	2019	令和元	5	北中学校南校舎改築
		6	地球温暖化防止都市宣言			10	楽寿園ほか3公園で策定した「富士・箱根・伊豆
		6	三島市民会議から三島市文化芸術協会に名称変更			12	皇室ゆかりの庭園」ツーリズムを国交省が認定
		12	第9代市長に小池政臣氏就任			スマート市役所宣言	三ツ谷工業団地が完成
1999	平成11	4	市民温水プールオープン	2020	令和2	8	スマート市役所宣言
		5	南中屋内運動場落成式			10	境川・清住緑地拡張オープン
2000	平成12	7	国際標準規格ISO14001取得			12	三島市民文化会館リニューアルオープン
2001	平成13	4	市制施行60周年記念式典 市の鳥「カワセミ」の制定	2021	令和3	3	民間事業者実施の県内の「本当に住みやすい街大賞」三島広小路エリア受賞
		8	中国麗水市と新たな友好都市提携			11	市制施行80周年記念式典
2002	平成14	4	北上高齢者すこやかセンターオープン	2022	令和4	5	三島市への移住者が県内最多(令和3年度)
			中学校給食開始			6	楽寿園「来園者2300万人達成」
2003	平成15	4	錦田小学校移転開校			8	3年ぶり「三嶋大祭り」開催
2004	平成16	9	箱根旧街道西坂が国の指定史跡に	2023	令和5	7	「三島羽田シャトル」運航開始
2005	平成17	1	大岡信氏名誉市民となる				
		4	三島本町タワーに子育て支援センター、市民活動センターオープン				
2006	平成18	3	街中がせせらぎ事業完了				
		4	三島駅北口広場オープン				
		4	山中城が(財)日本城郭協会「日本100名城」に選ばれる				
		8	新消防庁舎完成				
2007	平成19	9	北上文化プラザ完成				
2008	平成20	6	南二日町人工芝グラウンド完成				
			源兵衛川が環境省「平成の名水百選」に選ばれる				
2009	平成21	3	食育推進都市宣言				
		7	東駿河湾環状道路沼津岡宮IC～三島塙原IC供用開始				
		9	錦田幼稚園新園舎完成				